

未来を拓く科学大好き教育 通信

郷土博物館 特別研究員

指導課 特別指導員

岩波 英一

「理科室のおじさん」を尋ねて

その5 日立市立久慈小学校

日立理科クラブ・小比賀 敬さん



久慈小学校の「理科室のおじさん」小比賀敬さんを訪問しました。理科室に入ると、天井の側面に、縦・横が30cm四方の樹木や花の写真が40数枚展示されています。今年の春から、久慈小の校庭を中心に小比賀さん自身が撮った写真です。植物の名前がよく分からないので、調べながら一つ一つ作成し、子どもたちにも、身近な植物の名前を知ってほしいと思い、始めたそうです。秋に咲く花も多く、これからも継続して写真撮影を行っていきたいと張り切っていました。出身は四国・高松だそうです。日立に

久慈小・理科室のコーナー

住んでいる年数のほうがはるかに長いと笑っていました。現役のときは、日製日立工場で製造部門に従事していたそうです。

今、趣味ではまっていることは寺巡りだそうで、「特に趣のある仏像には心惹かれます。すでに京都・奈良を中心に、200を超える名所・旧跡の寺を巡っています。」と目を細めていました。休み時間などに気軽に児童たちが、理科室を訪れて科学の不思議さを体験できるように、たくさんの実験具が展示してありました。「3, 4年生を中心に、理科室に遊びにやってきますよ。」と、日立理科クラブの作品や小比賀さん手作りの作品がたくさん並んでいました。きっと子どもたちは、それらを動かしながら、その仕組みなどに興味を注いでいることでしょう。

とても驚いたことは、理科の授業で使用する備品一覧が、パソコンにすべて打ち込まれていて、教材・教具を調べたい時に備品番号をクリックすると、それらの写真が出てくるようになっていて、瞬時に探し出すことができるという仕組みになっています。とても便利な方法だと思いました。また、先生方との連絡は、連絡表を使って先生方からの依頼を中心に、実験器具や教材の準備をおこなっているということでした。

「理科室のおじさん」の事業が、それぞれの学校の特色がうまく出てきていて機能しだしていることにとっても感心しています。

